

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	人工股関節全置換術における動画を併用した術前説明の有用性
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
<p>【対象】 対象施設で2025年1月から2025年12月の間に対象施設で施行された人工股関節全置換術症例の中で、動画ICを併用された患者（40－90歳）および術前説明（IC）に動画ICを併用した経験がある医師</p> <p>【研究期間】 新潟大学倫理審査委員会承認後から2028年3月31日まで</p> <p>【過去の研究課題名】 なし</p>	
② 概要	
<p>本研究では動画 IC に対して、患者側の理解度やその是非、また医師側からの負担軽減効果を調査することです</p> <p>1) 患者側への質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明に対する理解度（1 - 5 の 5 段階） ・医師からの説明とどちらを希望するか ・医師から追加の説明が必要か ・ほかの疾患でも動画 IC を用いた方が良いか <p>2) 医師側への質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画 IC 併用により時間的負担軽減になるか ・理解度は改善したか ・質問は増えたか ・医師側からみて動画 IC の併用を希望するか 	
④申請番号	2026-0022
⑤研究の目的・意義	手術の際の術前説明（IC）には時間と労力を要します。同じ手術の際に動画を用いることにより医師の負担軽減や一定の質を担保した術前説明を行うことが可能となります。私たちは 2024 年に人工股関節全置換術（THA）の IC において Contrea 社（東京）と共同で THA の IC 動画を作成し、現在、通常の診療において医師からの術前説明の補助として IC 動画を用いています。本研究の目的は動画 IC に対して、患者側の理解度やその是非、また医師側からの負担軽減効果を調査することです。
⑥研究期間	新潟大学倫理審査委員会承認後から2028年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用	診療録情報を用いた後方視的研究であり、新たに生じる不利益、

方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	危険性はないと考えられます。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	<p>1) 患者側への質問</p> <ul style="list-style-type: none"> • 年齢, 性別 • 説明に対する理解度（1 - 5 の 5 段階） • 医師からの説明とどちらを希望するか • 医師から追加の説明が必要か • ほかの疾患でも動画 IC を用いた方が良いか <p>2) 医師側への質問</p> <ul style="list-style-type: none"> • 動画 IC 併用により時間的負担軽減になるか • 理解度は改善したか • 質問は増えたか • 医師側からみて動画 IC の併用を希望するか
⑨利用の範囲	新潟大学大学院医歯学総合研究科 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座および整形外科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学大学院医歯学総合研究科 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座 今井 教雄
⑪お問い合わせ先	新潟大学大学院医歯学総合研究科 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座 今井 教雄 025-227-2272 imainorio2001@med.niigata-u.ac.jp